

100th

SHIJONAWATE GAKUEN

1926-2026

学校法人 四條畷学園

認定こども園

四條畷学園大学附属幼稚園

令和7年度(2025年度)

学校評価書

— School Evaluation Report —

— 2025 Academic Year —

建学の精神

報恩感謝

教育理念

人をつくる

令和8年3月(2026年3月)

令和7年度（2025年度）学校評価書

— 自己評価・学校関係者評価報告書 —

建学の精神「報恩感謝」のもと、

子どもたち一人ひとりの「学ぶ喜び」を育みます。

四條畷学園大学附属幼稚園では、建学の精神「報恩感謝」と教育理念「人をつくる」を教育・保育の基盤とし、子どもたち一人ひとりの個性と可能性を大切にしています。幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う大切な時期です。子どもたちが安心して園生活を送り、遊びやさまざまな体験を通して、自ら考え、挑戦し、友達とともに成長していくことができるよう、日々の教育・保育に取り組んでいます。

令和7年度は、ヨコミネ式教育法を取り入れた教育活動、音楽・造形・運動などの多様な体験、2歳児教育や未就園児教室をはじめとする子育て支援、安全・安心な教育環境づくりなど、本園の特色を生かした取組を進めてまいりました。また、保護者の皆様からいただいたご意見を園運営に生かし、教育・保育の質をより一層高めることにも努めました。

本学校評価書では、令和7年度の教育・保育活動を振り返り、成果と課題を整理しています。評価に当たっては、教職員による自己点検に加え、保護者満足度調査や学校関係者評価を踏まえ、多面的な視点から検証しました。評価結果を公表することは、本園の取組を保護者や地域の皆様にお伝えするとともに、次年度の改善につなげるための重要な機会であると考えています。

今後も、成果だけでなく課題にも真摯に向き合い、教職員一人ひとりが専門性を高めながら、子どもたちが「学ぶ喜び」を感じ、健やかに成長できる園づくりを進めてまいります。引き続き、本園の教育・保育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

認定こども園

四條畷学園大学附属幼稚園

園長 長谷 秀揮

内容

第1章 学校評価の基本的な考え方	3
第2章 本園の概要	4
第3章 令和7年度の重点目標	5
第4章 自己評価	6
4-1. 教育・保育活動	6
4-2. 建学の精神・教育理念の実践	7
4-3. 保護者との連携・子育て支援	7
4-4. 安全・安心な教育環境	7
4-5. 教職員の資質向上・園運営	7
4-6. 総合評価	8
第5章 保護者満足度調査	8
第6章 学校関係者評価	9
第7章 令和8年度に向けた改善方策	10
おわりに	11
学校評価総括 (Summary)	12
評価結果一覧	12
学校評価を踏まえた重点課題	13

第1章 学校評価の基本的な考え方

1. 学校評価の目的

本園では、学校教育法及び学校教育法施行規則の趣旨を踏まえ、教育・保育活動及び園運営について自ら点検・評価を行い、その結果を教育・保育の質の向上及び園運営の改善につなげることを目的として、学校評価を実施しています。

学校評価は、教職員一人ひとりが教育・保育活動を客観的に振り返り、成果と課題を共有するとともに、保護者や地域社会から信頼される園づくりを進めるための重要な取組です。

また、評価結果を次年度の事業計画や教育・保育活動に反映し、継続的な改善を図ることで、本園の教育・保育の質をさらに高めていきます。

2. 学校評価の基本方針

本園では、建学の精神「報恩感謝」のもと、教育理念「人をつくる」を教育・保育の基本とし、学校法人四條畷学園の教育方針を踏まえながら学校評価を実施しています。

学校評価に当たっては、令和7年度事業計画に基づく教育・保育活動の実施状況を自己点検するとともに、保護者満足度調査や学校関係者評価の結果を踏まえ、多面的な視点から評価を行いました。

評価結果については、教育・保育活動及び園運営の改善に活用し、園児一人ひとりの健やかな成長、保護者や地域から信頼される認定こども園づくりに生かしていきます。

3. 学校評価の実施体制

学校評価は、園長を中心に全教職員が参画し、教育・保育活動及び園運営について自己評価を実施しました。

さらに、保護者満足度調査の結果を踏まえるとともに、学校関係者による評価を受け、その意見を今後の教育・保育活動及び園運営の改善に反映します。

4. 学校評価の流れ

令和7年度事業計画



教育・保育活動の実践



自己点検・自己評価



保護者満足度調査



学校関係者評価



令和8年度事業計画及び教育・保育活動への反映

第2章 本園の概要

1. 建学の精神

学校法人四條畷学園は、建学の精神「報恩感謝」のもと、人とのつながりや支え合いを大切にし、感謝の心を育む教育を実践しています。

本園においても、子どもたちが周囲の人々や自然、社会との関わりを通して感謝する心を育み、豊かな人間性の基礎を培うことを大切にしています。

2. 教育理念

本園は、学校法人四條畷学園の教育理念である「人をつくる」を教育・保育の基本理念としています。

幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期です。本園では、一人ひとりの個性や可能性を大切にしながら、自ら考え、行動し、他者を思いやることのできる子どもの育成を目指しています。

3. 教育目標

本園では、建学の精神及び教育理念に基づき、次のような子どもの育成を目指しています。

- ・健康でたくましい子ども
- ・自ら考え、主体的に行動する子ども
- ・思いやりと感謝の心をもつ子ども
- ・友達と協力し、最後までやり抜く子ども
- ・豊かな感性と創造性をもつ子ども

4. 教育・保育の特色

本園では、幼児一人ひとりの可能性を伸ばすため、日々の遊びや生活を大切にしながら、教育・保育活動の充実を図っています。

また、ヨコミネ式教育法を取り入れ、子どもたちが「できた」という達成感を積み重ねることで、自信や挑戦する意欲を育んでいます。

さらに、音楽活動や造形活動、運動遊びなど多様な体験を通して、豊かな感性や表現力を育成するとともに、異年齢交流や集団生活を通じて協調性や社会性を養っています。

5. 地域とともに歩む園づくり

本園では、認定こども園として教育・保育に加え、未就園児教室や子育て相談など、地域の子育て支援にも積極的に取り組んでいます。

保護者との信頼関係を大切にしながら、地域に開かれた園づくりを推進し、安心して子どもを預けられる教育・保育環境の充実に努めています。

第3章 令和7年度の重点目標

本園では、建学の精神「報恩感謝」のもと、教育理念「人をつくる」の実現を目指し、令和7年度事業計画に基づき、次の重点目標を定めて教育・保育活動に取り組みました。

1. 教育・保育の質の向上

幼児一人ひとりの発達や特性を踏まえ、「遊び」を通した主体的な学びを大切にするとともに、ヨコミネ式教育法を取り入れた教育・保育活動を充実させます。また、子どもたちが挑戦する意欲や達成感を味わえる環境づくりに努めます。

2. 豊かな人間性を育む教育の推進

建学の精神「報恩感謝」を教育・保育活動の基盤とし、自分や友達を大切にする心、感謝する心、最後までやり抜く力を育みます。また、集団生活を通して協調性や社会性を養い、豊かな人間性の育成を図ります。

3. 子育て支援の充実

認定こども園として、未就園児教室や2歳児教育、子育て相談などを通して、地域の子育て家庭への支援を充実させます。また、保護者との信頼関係を深め、家庭と連携した教育・保育を推進します。

4. 教職員の資質向上

教育・保育の質の向上を図るため、園内研修及び園外研修への積極的な参加を推進するとともに、教職員相互の学び合いを通して専門性の向上に努めます。

5. 安全・安心な教育環境の充実

園児が安心して生活できるよう、安全点検や避難訓練、防犯・防災教育を計画的に実施するとともに、健康管理や衛生管理の徹底を図ります。

6. 保護者との連携及び情報発信の充実

保護者との日常的なコミュニケーションを大切にするとともに、ICT（コドモン等）を活用した情報発信の充実を図り、本園の教育・保育活動への理解を深めていただけるよう努めます。

第4章 自己評価

本園では、令和7年度事業計画に基づき教育・保育活動を実施し、その成果と課題について自己評価を行いました。

自己評価に当たっては、教育・保育活動の実施状況、教職員による自己点検、保護者満足度調査等を踏まえ、教育・保育の質の向上及び園運営の改善につながるよう総合的に評価しました。

なお、評価区分は次のとおりとしています。

評 価	評価基準
A	目標を十分に達成しており、継続・発展が期待できる。
B	概ね目標を達成しているが、一部改善が必要である。
C	改善すべき課題があり、重点的な取組が必要である。

4-1. 教育・保育活動

評 価 A

自己評価

幼児一人ひとりの発達や特性に応じた教育・保育を実践するとともに、遊びを通じた主体的な学びを大切にしました。また、ヨコミネ式教育法や音楽活動など、本園の特色を生かした教育活動を継続的に実施し、子どもたちの挑戦する意欲や達成感を育むことができました。

今後の課題

教育活動の成果や子どもの成長について、保護者へより分かりやすく発信するとともに、一人ひとりに応じた支援の充実を図ります。

4－2．建学の精神・教育理念の実践

評 価 A

自己評価

建学の精神「報恩感謝」のもと、挨拶や思いやり、感謝する心を育む教育・保育を日常生活の中で実践しました。集団生活を通して、自分や友達を大切にする姿や最後まで取り組む姿勢が育まれました。

今後の課題

家庭との連携をさらに深め、園と家庭が共通した教育方針のもとで人間教育を推進します。

4－3．保護者との連携・子育て支援

評 価 A

自己評価

保護者との日常的なコミュニケーションを大切にするとともに、未就園児教室や子育て相談など、認定こども園としての子育て支援を実施しました。また、ICT（コドモン）を活用し、園からの情報発信にも努めました。

今後の課題

教育・保育活動の「見える化」をさらに進め、保護者との相互理解を一層深めます。

4－4．安全・安心な教育環境

評 価 A

自己評価

安全点検、避難訓練、防犯・防災教育、健康管理及び衛生管理を計画的に実施し、安全・安心な教育環境の維持に努めました。

今後の課題

危機管理体制を継続的に見直すとともに、防災意識及び安全意識のさらなる向上を図ります。

4－5．教職員の資質向上・園運営

評 価 B

自己評価

園内外の研修への参加や教職員間での情報共有を通して教育・保育の質の向上に努めました。また、ICTを活用した業務改善にも取り組みました。

今後の課題 若手教職員の育成を計画的に進めるとともに、ICTのさらなる活用による業務効率化及び働きやすい職場環境づくりを推進します。

4－6．総合評価

令和7年度は、建学の精神「報恩感謝」のもと、教育理念「人をつくる」を基盤として教育・保育活動を計画的に実施しました。教育・保育活動、安全管理、保護者との連携については概ね目標を達成し、本園の特色を生かした教育・保育を推進することができました。

一方、教育活動の見える化、教職員の専門性向上及びICTを活用した情報発信については、さらなる充実が必要であることを確認しました。

今後も学校評価を教育・保育活動及び園運営の改善に生かし、教職員が一丸となって教育・保育の質の向上に努めます。

第5章 保護者満足度調査

1. 調査の概要

本園では、教育・保育活動及び園運営の改善を図るため、保護者満足度調査を実施しています。

調査では、教育・保育内容、安全・安心な園づくり、教職員の対応、保護者との連携、施設・設備などについてご意見をいただき、学校評価及び次年度の事業計画に反映しています。

2. 調査結果の概要

令和7年度の保護者満足度調査では、教育・保育内容、教職員の対応、安全・安心な教育環境について高い評価をいただきました。

また、多くの保護者から、本園の教育・保育方針に対する理解や信頼が寄せられ、子どもの成長を実感しているとの意見が見られました。

一方で、教育活動の様子や子どもの成長について、より分かりやすい情報発信を望むご意見や、子育て支援に関する情報提供の充実を求めるご意見もありました。

3. 分析

調査結果から、本園の教育・保育活動については概ね高い評価を得ており、日頃の教育・保育実践が保護者から一定の評価を受けていることが確認できました。

一方で、教育活動の「見える化」や情報発信については改善の余地があることが分かりました。今後は、コドモン等を活用した情報発信の充実を図るとともに、保護者とのコミュニケーションをさらに深め、教育・保育活動への理解をより一層深めていただけるよう努めます。

4. 今後の対応

保護者満足度調査でいただいたご意見を真摯に受け止め、教育・保育活動及び園運営の改善につなげていきます。

特に、教育活動の発信方法の工夫、子育て支援の充実及び保護者との連携強化を令和 8 年度の重点取組として位置付け、より信頼される認定こども園を目指します。

第 6 章 学校関係者評価

1. 学校関係者評価の実施

学校自己評価の結果について、学校関係者から教育・保育活動及び園運営の観点からご意見をいただき、学校自己評価の妥当性や今後の改善方策について検証を行いました。

2. 評価できる点

学校関係者からは、次の点について評価をいただきました。

- ・建学の精神「報恩感謝」及び教育理念「人をつくる」に基づいた教育・保育が日常的に実践されている。
- ・ヨコミネ式教育法や音楽活動など、本園の特色を生かした教育・保育が継続して実施されている。
- ・教職員が子ども一人ひとりに丁寧に関わり、安心して生活できる教育環境が整えられている。
- ・保護者満足度調査においても教育・保育内容や教職員の対応について概ね高い評価を得ており、保護者との信頼関係が構築されている。
- ・安全管理や防災対策について継続的な取組が行われている。

3. 改善を期待する点

学校関係者からは、次のような意見が示されました。

- ・教育・保育活動の様子や子どもの成長について、保護者へより分かりやすく発信することが期待されます。
- ・ICT の活用については一定の成果が見られるものの、教育活動の記録や情報共有など、更なる活用が期待されます。
- ・教職員の専門性向上に向け、計画的な園内研修及び若手教職員の育成を継続して進めることが望まれます。
- ・支援を必要とする園児への対応について、専門機関との連携を含め、支援体制をさらに充実させることが期待されます。
- ・保護者満足度調査で寄せられた意見については、改善状況を保護者へ分かりやすく伝える工夫が望まれます。

4. 総括

学校関係者は、学校自己評価の内容は概ね妥当であり、本園は建学の精神及び教育理念に基づいた教育・保育を着実に実践していると評価しました。

一方で、教育・保育活動の見える化、教職員の資質向上、ICTを活用した情報発信及び支援体制の充実については、継続的な改善が必要であるとの意見が示されました。

第7章 令和8年度に向けた改善方策

学校自己評価、保護者満足度調査及び学校関係者評価の結果を踏まえ、令和8年度は次の事項を重点的に取り組みます。

1. 教育・保育の質の向上

幼児一人ひとりの発達や特性に応じた教育・保育の充実を図るとともに、主体的に学ぶ力や豊かな人間性を育む教育を推進します。また、教育・保育活動を継続的に見直し、さらなる質の向上に努めます。

2. 教育・保育活動の「見える化」の推進

保護者が子どもの成長や教育・保育活動をより身近に感じられるよう、コドモンやホームページ、園だより等を活用した情報発信を充実させます。また、保護者との対話を大切にし、教育・保育への理解を深めていただけるよう努めます。

3. 教職員の資質向上

園内研修及び園外研修を計画的に実施し、教育・保育に関する専門性の向上を図ります。また、若手教職員の育成や教職員相互の学び合いを推進し、組織全体の教育力向上に努めます。

4. 安全・安心な教育環境の充実

安全点検、避難訓練、防犯・防災教育を継続的に実施するとともに、関係機関との連携を強化し、安全・安心な教育環境づくりを推進します。

5. 子育て支援及び地域との連携

認定こども園として、未就園児教室や子育て相談などの子育て支援事業の充実を図るとともに、地域との連携を深め、子育て家庭に寄り添った園づくりを進めます。

6. 園運営の充実

ICTの積極的な活用や業務改善を推進し、教職員が教育・保育に専念できる環境づくりを進めます。また、学校評価を継続的に実施し、その結果を教育・保育活動及び園運営の改善に生かすことで、質の高い教育・保育の実現を目指します。

おわりに

本園では、建学の精神「報恩感謝」のもと、教育理念「人をつくる」を教育・保育の基本とし、子ども一人ひとりの健やかな成長を支える教育・保育を実践しています。

令和 7 年度学校評価では、本園の教育・保育活動について成果と課題を整理するとともに、今後取り組むべき方向性を明らかにしました。

今後も学校評価を教育・保育活動及び園運営の改善に生かし、教職員一人ひとりが専門性を高めながら、保護者や地域から信頼される認定こども園づくりを進めてまいります。



学校評価総括（Summary）

令和7年度学校評価の結果を総括すると、本園の教育・保育活動は概ね目標を達成し、建学の精神「報恩感謝」のもと、教育理念「人をつくる」の実現に向けた教育・保育を着実に推進することができました。

一方で、教育活動の見える化や情報発信、教職員の専門性向上など、継続的に改善すべき課題も明らかになりました。これらの課題については、令和8年度事業計画に反映し、教育・保育のさらなる充実に取り組んでまいります。

評価結果一覧

No	評価項目	評価	総括	令和8年度重点取組
1	教育・保育活動	A	主体的な学びを重視した教育・保育を推進しました。	教育活動のさらなる充実
2	建学の精神・教育理念	A	「報恩感謝」の心を育む教育を継続しました。	教育理念のさらなる浸透
3	保護者との連携	A	保護者との信頼関係を構築することができました。	教育活動の見える化
4	子育て支援・地域連携	B	認定こども園としての役割を果たしました。	子育て支援事業の充実
5	教職員の資質向上	B	園内外研修を実施しました。	若手教職員の育成
6	安全・安心な教育環境	A	安全管理体制の維持・向上に努めました。	危機管理体制の充実
7	ICT・業務改善	B	ICTを活用した業務改善を進めました。	DXの推進と情報発信の充実

学校評価を踏まえた重点課題

令和 8 年度は、次の事項を重点課題として教育・保育活動及び園運営の改善に取り組めます。

- ・教育・保育活動のさらなる質の向上
- ・教育活動の見える化と情報発信の充実
- ・教職員研修及び人材育成の充実
- ・ICT を活用した業務改善の推進
- ・子育て支援及び地域との連携強化
- ・安全・安心な教育環境のさらなる充実



令和 7 年度（2025 年度）
学校評価書

学校法人 四條畷学園

認定こども園 四條畷学園大学附属幼稚園

〒574-0001

大阪府大東市学園町 6 番 45 号

TEL 072-876-2420

<https://kg.shijonawate-gakuen.ac.jp/>

発 行 令和 8 年 3 月（2026 年 3 月）

編 集 認定こども園 四條畷学園大学附属幼稚園

© Shijonawate Gakuen Kindergarten



Since 1926

Narrative for the Next Century

学校法人 四條畷学園